

青虫

2011.6
VOL.55



特集 平成23年度

新役員紹介

委員長

佐藤 喜紀

(西荒瀬)



なめされる 青年部



今年度委員長を務めさせて頂くことになりました。盟友の皆様よろしくお願ひします。

昨年度の国内農業情勢を振り返れば、家畜感染症の蔓延、異常気象による農畜産物の品質・収量低下、米価の下落など、農業経営において被害が広がっています。国政においては、新たな食料・農業・農村基本計画のもとで米の戸別所得補償制度がスタートするなどの大転換が行われ、TPPをはじめとした国際的な貿易交渉も進められており、農業者には不安が広がるばかりです。さらには、3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う津波により、東北関東沿岸地区が壊滅的な被害を受けるとともに、福島第一原子力発電所の事故・トラブルにより農畜産物に多大な風評被害が発生しています。多数の報道で取り沙汰されている様に、まさに戦後最大の危機に直面しているといえるでしょう。

そのような農業情勢の中、JA庄内みどり青年部としてどのような活動・支援・行動をしていけばよいのだろうか。我々の先輩たちはいつの時代も様々な

課題に熱い議論を交わしながら、正面から立ち向かい日本農業のあるべき姿を求めて活動されてきたことだと思ひます。その様な先輩方の意志を受け継ぎ今年度も、上京運動やまるかじりツアーを中心とした食農教育活動に努めていきたいと考えています。又、長年にわたり先輩方よりリレーされてきた取り組みが評価され、JA全中主催「パケツ稲づくりコンテスト」支援団体の部において日本農業新聞会長賞を賜りましたことの報告とお礼も合わせてさせていただきます。と思います。

水落前委員長から託されたバトンを次世代にきちんと渡せる様に、盟友1人1人の声を聞き意見交換をしながら、農業は1人でも出来るといふ事実と仲間がいるから癒され継続していけるという現実を、青年部活動とおして伝えていければと思ひます。

1つ1つの事業に取り組み達成することで、喜びを盟友の皆さんで分かち合ひましょう。盟友の皆様参加とご協力をよろしくお願ひします。

JA庄内みどり 青年部

平成23年度 委員の紹介



副委員長

成澤 貴行

(上田)



副委員長

吉宮 洋昭

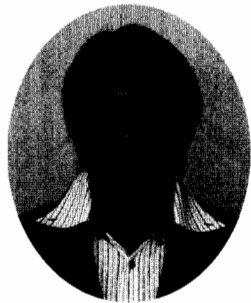
(藤岡)



副委員長

尾形 大介

(中平田)



総務部長

佐々木 治人
(新堀)



青年部に18歳で入ってから、早いもので41歳の年を迎えました。

今年度総務部長をさせていただきました。前年度の部長の目標だった、「青年部に入ってよかったと思える雰囲気作り」を引き継いで、支部間を越えた楽しい交流の場をセッティングできる様に努力していきます。部員交流会への皆さんの参加をお待ちしております。それでは今年1年、がんばろう日本、立ち上がれ東北。



総務副部長
児玉 康昭
(酒田)

経営部長

土門 康記
(本楯)



今年度から経営部長をさせていただきました。ことになりました。盟友の皆様にはご迷惑をかけることもあるかと思いますが、一生懸命がんばります。よろしくお願います。

経営部では、視察研修や良質米コンクールなどの活動を、農業経営のプラス材料にしていければと考えています。最後に、盟友の皆様から視察先などのご要望がありましたら、気軽に声をかけてもらえればと思います。



総務副部長
柁津 寛紀
(西荒瀬)

農政部長

佐藤 仁
(東平田)



農政2年目に入りました。今年度は、各事業を段取り良く出来るようにがんばりたいと思います。

「学校訪問」や「田舎まるかじりツアー」は、皆様からの協力で出来る事業ですので、多数のご参加よろしくお願いします。今年度は地震の影響により、各事業は例年と異なることが予想されます。皆様には早めに連絡できるようにしたいと思いますので、ご協力とご理解の程、よろしくお願います。



経営副部長
池田 浩良
(八幡)

広報部長

伊藤 義啓
(稲川)



今年度広報部長を務めることになりました、伊藤義啓と申します。部長になれる器でないことは十分承知いたしておりますが、お引き受けいたしましたからは、青年部広報誌「青虫」発行のため、全力を尽くす所存でございます。

昨年度副部長だった経験を活かし、JA庄内みどり青年部の広報に力を入れていきたいと思えます。部員の皆様方、ご協力をよろしくお願いたします。



経営副部長
佐藤 雅彦
(北平田)



農政副部長
土田 伸
(平田)



農政副部長
堀 秀徳
(遊佐)



広報副部長
渡部 義則
(中平田)



広報副部長
阿部 健五
(高瀬)

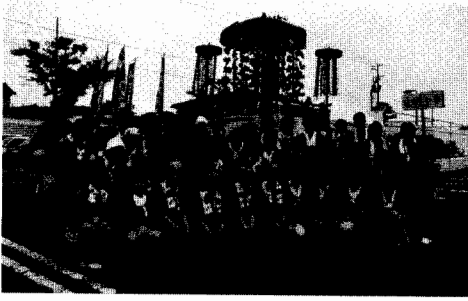


酒田まつり

5月20日、JA庄内みどり青年部・女性部・職員総勢41名が402年目を迎える酒田まつりに4年連続で出場しました。女性部手作りの華やかな傘福で彩られた山車を引きながら、沿道の観客に日本酒などを振舞いました。

曇天の下、54組中53番目の出場となりましたが、参加者の威勢のよい掛け声と観客の熱気のためか、気付いた頃には雨雲もどこかに吹き飛ばされていきました。

来年は、青年部からもより多くの参加ができるよう、春先の天候が安定することを祈りながら祭りを終えました。

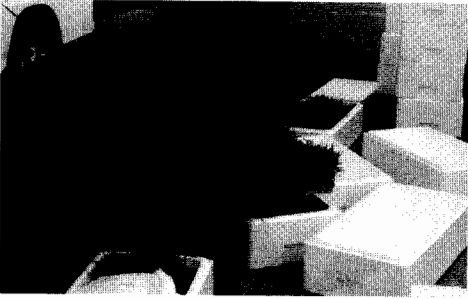


2011苗発送

5月25日、教材用稲の苗（はえぬき）の発送を、今年も滞りなく終えることが出来ました。新堀支部で担当するようになって5年目を迎えます。

こちらから発送する苗が丈夫で評判が良いため、発送先の小学校数は年々増加しており、今年度は72校を数える程です。

私たちが送った苗がどのように授業に取り入れられているのか。6月の上京運動を、今から楽しみにしています。



ご協力ありがとうございました

当青年部からの東日本大震災に対する義援金総額が269,120円となり、4月28日、佐藤喜紀委員長から山形新聞、山本和春庄内総支社長へと手渡されました。

この義援金は、山新愛の事業団を通じて日本赤十字社へと送られ、被災地支援に役立てられます。

皆様からの温かいご支援とご協力、誠にありがとうございました。



平成22年度

良質米コンクール結果発表

団体の部

最優秀賞

北平田支部 271点

(上位3名の合計)

優秀賞

西荒瀬支部 264点

(上位3名の合計)

個人の部

最優秀賞

今野 茂 昭

(西荒瀬支部)

品種 ひとめぼれ

優秀賞

本多 康 喜

(八幡支部)

品種 つや姫

優良賞

桑原 茂

(酒田支部)

品種 つや姫

優良賞

三浦 広 和

(稲川支部)

品種 ひとめぼれ

食味部門

「はえぬき」の部

最優秀賞

佐藤 健

(平田支部)

食味値 79

「ひとめぼれ」の部

最優秀賞

今野 茂 昭

(西荒瀬支部)

食味値 82

「コシヒカリ」の部

(つくばSD1号を含む)

最優秀賞

小條 聡

(新堀支部)

食味値 81

最優秀賞

佐藤 秀 行

(高瀬支部)

食味値 81

「つや姫」の部

最優秀賞

本多 康 喜

(八幡支部)

食味値 82